研究課題名

「夜勤もしくは当直後のレジデントのEmpathy（共感）についての調査」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H27中倫小第６４号）

研修医に対するEmpathyについての調査実施についてのお知らせ

　救急科では、夜勤もしくは当直後のレジデントのEmpathy（共感）についての調査を実施しております。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成２８年３月２２日

【研究課題名】

夜勤もしくは当直後のレジデントのEmpathy（共感）についての調査

【研究期間】

平成28年4月1日から平成29年3月31日

【調査対象】

初期研修医、後期研修医

【研究目的・意義】

医療者に必要な能力として、Empathyというものがあります。これは、患者を含めた他者の立場に共感し行動することを指します。これまでの研究にて睡眠不足が同能力を低下させることは分かっていますが、夜勤、当直業務自体が同能力を低下させるか否かは分かっていません。また、これまでの研究も日本人対象ではなく、文化的背景にも影響される能力と考えると、すべての医療者に共通する夜勤、当直という業務負担が医療者に与える影響を調べることは医学、社会に対し意義があると考えます。

【研究の方法】

Empathyに関する妥当性の証明されたスケールに基づいて、夜勤当直前と夜勤当直後で数ヶ月の期間をおいて、同勤務に当たる初期、後期研修医のEmpathyの測定をアンケートを用いて行います。その後、その影響を検討します。

【個人情報の取扱い】

アンケートの中に、経験年数、性別、将来希望する診療科などを問う設問がありますが、それ単独ではいずれも個人を特定できる要素ではありません。各施設では特定できる可能性はありますが、参加者の個人情報保護のために、結果登録時には、研究特異的な参加者番号を作成し研究には参加者番号のみを使用します。参加者番号と参加者の個人情報のリンクは各施設の主任分担研究者の責任の下、パスワードロックをかけたファイルに保存し、そのファイルを保存するPCは院内端末のみとします。

【研究機関】

沖縄県立中部病院、東京ベイ・浦安市川医療センター　他全5施設の予定

【本研究に関する問い合わせ先】

救急科　山口　裕

904-2293 沖縄県うるま市宮里281

沖縄県立中部病院098-973-4111